

# 2月の園だより

学校法人 鶴来学園  
鶴来第一幼稚園

1月は行ってしまふ、2月は逃げてしまふ、3月は去ってしまふ…。時の経つのは早いもので、年長さんの幼稚園での生活も残すところあと30日ほどとなりました。この春に卒園する子どもたちには幼稚園での残りの日々を、お友達と思いっきり遊び、学び、きらっきらの思い出を最後の最後までひとつでも多く作って欲しいと思います。

幼稚園での3学期といえば、2月の参観日や卒園式に向けた準備、年長の担任はそれにプラスして進学先の小学校への引き継ぎなど、短いながらもやる事が多く教員にとってもなかなか気ぜわしい時期ではありますが、それと同時に来年度に向けて教育課程（カリキュラム）や方針などを全員で考え、話し合い、検討する重要な時期でもあります。

数字は「1」ではなく「0」から始まり、この「0」のおかげで数字は無限に広がり極めて重要な役割を果たしていますが、来年度に向けて今はまさに「0」学期であり、更に今年度は従来の学習指導要領（幼稚園教育要領）から新要領への切り替わる初年度で、即実施となる幼稚園を皮切りに、今後順次切り替わっていく小中高での教育や大学入試の制度も含めて教育全体が大きく変わる時期でもあります。そのような社会の環境の中、第一幼稚園に於いては国際バカロレアの導入準備に向けた準備を検討することが求められた一年でした。この一年にそれぞれの教員が感じたこと、新たに経験したことや学んだことをこれまでの経験にプラスして活かして、年間のカリキュラム（教育課程）やそれと連動した行事の内容やあり方などを、子どもたちにとって何が最善か？そこには子どもたちにとってどのような学びと育ちがあるのか？ということをしつかりと考え教員が一丸となって再構築していきたいと思ひます。

園が今後、力を入れて行きたいと考えていることをいくつかご紹介します。

- ① 子どもたちが主体的で自発的な遊びや活動を、夢中になって没頭出来る環境づくりの強化
- ② お子さんの学びと育ちについて、保護者の方との共有強化
- ③ 15年間の学びの連続性を意識した実践的な幼小連携体制の構築
- ④ 特別な配慮を必要とする子どもへの対応強化

など、

決して前例踏襲主義ではなく、目的思考で、子どもたちへの最善を第一に考え、学校（幼稚園）や教育の当たり前を変えていければと考えています。保護者の皆様のご理解とご協力を今後とも宜しくおねがいします。

幼稚園統括園長  
中嶋 謙仁

## 2月の指導計画

幼稚園では各クラスの担任が下記の指導案に基づき、子どもたちの学びと育ちをサポートしています。各ご家庭においても下記（今月のねらい）をご理解いただき「今日は幼稚園でどんなことをしたの？」など、お子さまとコミュニケーションしたり、同様の視点でお子さまと接していただくことで、お子さまの成長を感じて頂ければと思います。

- 年長 見通しを持って友達と遊びや生活を進める楽しさや充実感を味わう。  
自然事象の不思議やおもしろさを感じ、試したり遊びに取り入れたりする。
- 年中 いろいろな遊びに自分から取り組んだり、挑戦したりすることを楽しむ。  
友達と共通の目的を持って活動に取り組み、充実感を味わう。  
冬の自然の心地良さを感じる。

年少 身近な冬の自然に気づき、見たり触れたりしておもしろさを感じる。

いろいろな素材に興味を持ち、作って遊ぶことを楽しむ。

未満児 簡単なルールのある遊びを楽しむ

年少児に向けて、身の回りのことを自分でしようとする

## 子どもの姿 (1月)

(年長) ・こま大会に向けてこまの練習に取り組んでいる年長さん。初めは紐を巻くのにも一苦労。何度も何度も挑戦してコマを回せる子も増えてきました。すると年長さん、年少さんのお部屋へ行ってコマを披露！椅子に年少さんを座らせて寄り添ってコマの回し方も教えてあげていました♪年少さんの喜んでる姿に嬉しさを感じながら自分たちの成長を感じている年長さんでした！

(年中) ・冬休みに経験したことを友達の前で発表しました。「クリスマスが終わって幼稚園が始まるまでどっこも行かなかったよ。だってずっとおばあちゃんの家にお泊まりしてたから」と発表した男の子。一緒に住んでいないおばあちゃんの家へのお泊まりが長かったと感じたのでしょうか、どこにも行っていないと思っているところが子どもらしくて可愛かったです。・1月の誕生会では年長の男の子が表現会で踊ったU・S・Aを伝授してもらい、全員で踊りました。何度も見ているので曲を掛けると自然に踊りだしたり歌ったりする様子は見られていましたが、細かな部分が分かりませんでした。そこで年長さんに『教えてくれるかな?』とお願いすると「いいよ」と張り切って年中のクラスに来てくれました。ひとりずつ隣でポーズを教えてくれる優しい年長さん。男の子も女の子もノリノリで「カーモンベイビーアメリカ！」楽しんで覚えています。誕生会当日衣装を着ましたが、USAのロゴ入りの服(紙で作ったロゴを縫い付けて来る子もいました)、ライン入りジャージ、派手な色、などお家の人と相談して工夫してあったので、子ども達が誕生会への期待を持ちながら参加出来たと思えました。・トレイ・カップに水を張って、外に出し、氷が出来るか挑戦しています。登園すると「できているかなあ?」と楽しみにしてトレイを見に行くのですが、凍っていない水を見てガッカリ……。「中に雪をたくさん入れないと凍らないんじゃない?」「うちわでパタパタしたら?」など、どうしたら水が凍りになるのか子ども達なりに色々と考えているようでした。でも今年はいやに暖かく凍らない日が続くので最近では除きに行く回数も減って忘れられ気味…。氷になったらどんなに子ども達が喜ぶのだろう、と期待している担任です…

(年少) ・もちつき会の日「幼稚園行きたくない」と泣いて登園してきた子がいました。どうしたのか理由を聞くと、「鬼出てくるから、怖い」と…。ん?鬼?どうして鬼?と思いましたが、前日に「豆まき」の話をしたり、鬼のお面を作ったりしてきたので、もちつきの日にも鬼が来るのだと勘違いしていたようです。鬼は来ない事を話すとホッと一安心。もちつき会では、年少さんも子ども用の杵でペタン!ペタン!もちつきを楽しむことができました。午後からの遊びでは、ブロックで杵を作って、もちつきごっこをしている様子が見られ、ホッコリしました。・パズルをしていた時に、1ピース足りない事に気づき「行方不明になったね～」と先生が言うと「あのね～私のお母さんのスリッパもよく行方不明になるよ～」と、しっかり者の女の子が言うので、思わず笑ってしまいました。

(満三歳児) ・お正月遊びを中心に簡単なルールのある遊びを楽しんできた子どもたち。かるた遊びでは、簡単な食べ物かるたにチャレンジ!自分の名前シールのパイナップルを取るぞと意気込んでいたSくん!常にそばにそれを置いて他の食べ物でも「はいっ!」と何度もとっていました!「次こそよ!」と合図を送ったはずなのに、いざ「パイナップル!」と読んだのに上の空。他の子にとられてしまいました。「今～!」と大笑いでした!本人は?な様子がまた可愛かったです。またなんでもバスケットといういす取りにもチャレンジ!「おとこのこ～」「おんなのこ～」「朝パン食べたひと～」という問いに対して当てはまると動いて違う椅子に座るのですが、何でもとにかく楽しくて動いてしまう子達もちらほら「よく聞いてよー!お野菜大好きな人～」それでも、え?本当に?な子が動いて、じゃあ今日大盛りー?なんてこちらが笑って楽しませてもらいました!少し難しかったかな?また色々チャレンジしていきたいと思います(^^)／

## バレンタインについて

もうすぐバレンタインデーですが、お友達にチョコをプレゼントする場合は、アレルギーや各ご家庭の甘い物への方針などもありますので、幼稚園で子供どうして渡すのではなく、保護者の方が先方の保護者の方に確認されてから、園外(ご家庭どうして直接のやりとり)でなさって下さい(ホワイトデーも同様でお願いします)